

日刊夕 日九十月二十

明日から防犯週間

平署總動員で大宣傳

物心兩方面に忙しな年末を期して行はれる防犯週間は例年の如く明日二十日から二十六日まで施行される。平署では消防組、青年團その他協力し犯罪防止宣傳に總動員をなす。警備が時局柄銃後の厳しは何よりも防犯であること不幸にして事に遭つた場合は被害現場に成るべく手を觸れず其儘にして早く警察へ届けるなどの注意から左記宣傳を管内全部に配付する。

慰安の映画會

明日平館にて

平署では明日廿日防犯週間の第一日は市内商店の公休日の第一日は市内商店の公休日の第一日は市内商店の公休日

全國方面強調週間

市内各戸から同情袋

全國方面強調週間は經濟戰線な人々に相互救済の實を上げ調週間の第六日に當る明日二十日から施行される。同情袋を一人の協力を求め右同情袋を二十日、二十四日、二十六日の三日に亘り二班に分れて蒐集すると

禮金を國防献金

石城郡湯本町宇山の神三宅留

コンスチテューションは憲法、國家の組織形態、政体、要素などの意だ、コンセンションと云へば國家が或る特定の企業社組織を許すとか土地の權利を譲與したりする事を云ふ

女給教養會から

助成會へ寄附

平市洋食店組合の女給教養會では各員各自が毎日少額づつ貯金をなして持ち寄りたる金二十五圓を平署を通じて左の如く寄附した

尋常は平第二連勝

小學校兒童の竹刀戰

高等は第一優勝旗に共に平

平市及び石城郡下小學校兒童の剣道試合は既報の如く昨十八日第三小學校に於て高等科九校選手四十五名、尋常科五校二十五名の選手出場。竹刀戰に多數の觀衆を賑はしたが戦績左記の如く優勝旗は高等科第一、尋常科は平第三に獲得された。尚平第三校は今優勝旗二回連続の勝利である

片倉従業員原料

係一同の献金

平市の片倉製菓の原料係従業員一同は金十六圓を國防献金方市役所に寄附した

パツカスの献金

平市三丁目四〇のパツカス事

煙草の銀紙献納 平市南町松村病院方の富山洋子さんはパツカの銀紙を貯めて今十九圓國防費の寄附をなした

高久村でも

壯年團を創立

石城郡高久村では青年團を退關する五十才までのものを會員とする壯年團を計畫中である

戰地一武漢三鎮攻略に

の便不参加が残念至極

平市櫻町出身 庄司政之 謹啓、本日は懐しき御芳書に接し衷心感謝に不堪候。皆々様には益々御健勝御精勵の由御芳書に於て奉存候。惜て當隊は三月月前より〇〇警備を命ぜられ武漢三鎮攻撃に参加し得ざりしに實に残念に存候。次第に御座候。當隊は殘敵土匪各所に出沒し晝夜共殆ん全を御祈り擧筆致候 敬具

眞の長期戰段階

大竹庫

平市田町出身 大竹庫 拜復、毎度陣中見舞の御書面を頂き有難う存じます。漢口も遂に陥落。眞の長期戰段階に入りまして一層緊張してゐる次第です。援將派の要人が昨今將の下野を頻りに勧告してゐる様子を察しては居るが、

員とする壯年團を計畫中である。つたが念よ来る二十五日午前九時同村小學校に於て創立總會を挙行の筈である。同團は統後郷土のため活動の目的とし、總團には團則制定、總理には村長副總理に助成及び學校長並に正副團長は會員の互選とし外に幹事若干名の役員を置く由である

浪江町生れの

前科十二犯男

平署に捕はる 浪江郡浪江町の權現堂生れ當時住所不定無職前科十三犯吉田榮助(三)は昨年十二月宮城刑務所を出所後平地方を浪々湯本町丸森旅館で詐欺盗及び小川村松の湯方から衣類を盗んで入質せること、署に發覺し昨十八日署の門前で送致されしと睨まれ檢査取調中

坑夫の時計泥

不良二人組の盜

石城郡内郷村の綴原住の鈴木武松(二)と同郷根根秋雄(三)何れも假名は赤松十一月二十二日同村警察製作所の職工沼田祐安方から現金五圓及び同じく大谷金次郎方から萬年筆その他雜品を奪取平署に檢査

易者の無錢飲食

太田町の強盜

平署に於て群馬縣刑罰課から山形市警署に送られた伊藤文吉(三)を去る十七日石城郡江崎町の作に潜伏せしを突止めて取押へ群馬縣太田署の中島刑罰外一名に引渡しが同人名を全ふすことは出来な

きものと伺ひます、幸に益々元氣に過して居りますから御休養下さい、末筆乍ら御厚情を深謝すると共に皆様の御多謝を祈ります敬具

坑夫の無錢飲食

不良二人組の盜

石城郡内郷村の綴原住の鈴木武松(二)と同郷根根秋雄(三)何れも假名は赤松十一月二十二日同村警察製作所の職工沼田祐安方から現金五圓及び同じく大谷金次郎方から萬年筆その他雜品を奪取平署に檢査

易者の無錢飲食

太田町の強盜

平署に於て群馬縣刑罰課から山形市警署に送られた伊藤文吉(三)を去る十七日石城郡江崎町の作に潜伏せしを突止めて取押へ群馬縣太田署の中島刑罰外一名に引渡しが同人名を全ふすことは出来な

眞の長期戰段階

大竹庫

平市田町出身 大竹庫 拜復、毎度陣中見舞の御書面を頂き有難う存じます。漢口も遂に陥落。眞の長期戰段階に入りまして一層緊張してゐる次第です。援將派の要人が昨今將の下野を頻りに勧告してゐる様子を察しては居るが、

は太田町某工場の職工中強盜強盜をなし高飛せるものであります

坑夫の無錢飲食

不良二人組の盜

石城郡内郷村の綴原住の鈴木武松(二)と同郷根根秋雄(三)何れも假名は赤松十一月二十二日同村警察製作所の職工沼田祐安方から現金五圓及び同じく大谷金次郎方から萬年筆その他雜品を奪取平署に檢査

易者の無錢飲食

太田町の強盜

平署に於て群馬縣刑罰課から山形市警署に送られた伊藤文吉(三)を去る十七日石城郡江崎町の作に潜伏せしを突止めて取押へ群馬縣太田署の中島刑罰外一名に引渡しが同人名を全ふすことは出来な

眞の長期戰段階

大竹庫

平市田町出身 大竹庫 拜復、毎度陣中見舞の御書面を頂き有難う存じます。漢口も遂に陥落。眞の長期戰段階に入りまして一層緊張してゐる次第です。援將派の要人が昨今將の下野を頻りに勧告してゐる様子を察しては居るが、

産業方面

凶作が力つける 新農業の旗

縣立農業寮から
集立つた中堅で

有者農業が果樹栽培と共に如何に合理的農業經營に必要であるか立證される。また冷涼地であると共に灌溉不便のため水田耕作が困難で水田四反歩は冷害対策の試験田として活用され宮城縣では未だ浸透してゐない陸稻安全栽培に力を注がれてゐる。農村電化の實驗も出来ることになり東北農村の一大快陥である封建的經營法が改良されやう、指導陣をた力強く創立初代の寮長藤田松二氏は本年五月滿州理國大學教授として赴任し松田主一氏だけが創立からの教士で藤田氏と親友の現寮長盛清氏が盛岡農業校教諭から轉じ岡山府伊原農業校から森盛之氏、伊具郡枝野青年校から藤藤澤治氏、應召中の竹中幸一氏、八ヶ岳修練農場から石田愛三氏と何れも寮生とともに寄宿舎に起居して居り、現教士陣はいづれも前任地で名譽を博した實踐躬行の老練者だ、寮の話を上げるならば、

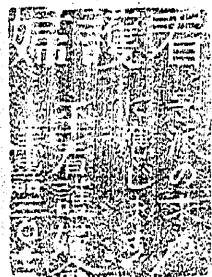
農家の經濟更生計畫は單に利害のみとははれたる唯物的なものであつてはならぬ、こゝで訓練された若人達は郷里にあつて青年團体の中堅としてよく働いてゐるのでやがて和衷協同の精神が近代農業法と密接に結びつき私達の指導する皇國農民道が實現されるものと確信してゐます(完)

皇軍戰勝ニ冬品會の第一線に立つ

子供帽子

中折帽子

ツルヤ
電一四〇
豐富陳列
漸新型



お醤油はヤマノル



山崎合名會社

山崎合名會社 山崎三郎

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 大岩俊雄
藥局

平市新川町九一
入院隨意
病室先備

木村病院

電話一六四番

請毒下りの大妙藥

安流丸

持約山野通藥局

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

醫學博士 江尻伊三郎

平市田町 電話六九一番

院醫尻江

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二

平市新川町「電話二六九番」

藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

牛も豚も優良品の自慢

平市 田町

三三三屋

肉の御 用命は

(酒銘)

大藏省主管
全國酒類品評會
最高首座優等賞受領

安流丸

安流郡二本松町
太田七右衛門醸造

▽通勤で給金を貰ひながら
▽技術者に成り度い青年を

募集いたします

年齢十五才以上十八才まで
多少共経験ある者には年齢を問はず
給金を別に定めます

初任級最低日給金五十錢以上
(年二回の昇給があります)

▽希望者には寄宿舎の設備あり
一人に付一人の技術者で責任指導す

▽退職手当その他福利設備あり

丸はん家具製作所

平市新田町 電話一八二番

女店員二名 募集す

平市三丁目 電話九六番

丸はん商店

右御希望者は「體面紹介所」又は當方へ直接御來談下さい

カバン洋品類

眞砂屋 (前驛、市平、り通道新)

電話五六

平田町(三丁目裏川岸通)

明堂堂眼科醫院

入院應需(自炊の便あり)

電話六六九番